

美山だより 2013・ふゆ

皆様お元気ですか？ アースガーデンのおひさま発電所は、雪の季節の1月で210kWhの発電量でした。今、美山はとても静かで、アースガーデンの南窓からはこんな雪景色が見られます。(写真①)



写真①

この季節は来訪者も少なく、朝ものんびりできます。目覚めた後の30分は「瞑想」と称して、何もせず暖かい寝床の中でぜいたくな時を過ごせることがあります。ボーッしているだけで、いろいろなアイデア、気づき、問題解決のヒントなどが浮かんで来るのです。この早朝のひとつきは、私にとってプラチナタイムです。それから起床し、外に出て、水道栓を開けます。冬季は夜間の凍結で水道管が万が一破裂しないように、就寝前に外の水道栓を閉めているからです。それから敷地の外のバス停小屋まで新聞を取りに行きます。この地域では新聞が戸別配達されず、バス停にある段ボール箱に、前日の夕刊と当日の朝刊が、複数所帯分まとめて入れられるのです。近隣の人々は毎朝ここまで来て、その段ボール箱より購読している夕刊と朝刊を取って、家まで持ち帰ります。朝のスタートはこんなふうで、都会暮らしよりも少しだけ手間がかかります。それから私は温かいミルクティーを入れ、午前中の作業に入ります。こうして私の一日が始まります。

今は一年中で一番のんびりできる季節ですが、今年の12月は忙しく冬支度に追われていました。雪が降る前にすることがたくさんあったのです。バイオガス液肥のくみ出し、堆肥やミミズコンポストの取り出し、ブロッコリー、ハクサイ、カリフラワー、ニンジン、カブの収穫と、冬越しするタマネギ、ニンジン、果樹や多年草への施肥をしておきたかったのです。肥料は、1年前の冬の薪ストーブよりの灰、米ぬか、隣の日吉町の山田製油さんよりの胡麻の油かすなどでした。(この油かすはとても良い胡麻の香り!) 生ゴミ堆肥やミミズコンポストは春の植え付け用に半分を取り置いて、残りを肥料と併せて菜園の植床や果樹の周りに、置いたり埋めたりしました。この季節、庭の落葉樹はすっかり葉を落とし、地面のほとんどは落ち葉で覆われていて、そこにも灰やぬかを播きました。これで多くの冬支度のうち、ひとつが終わりました。

薪の移動も本格的な雪の季節の前にしておこうと思いましたが、薪は2年分ほどをすでに確保していますが、この冬で使う分をすぐ使えるように、家のそばの雨や雪でぬれない場所2カ所に移動しておくと思いが良いのです。薪運びも薪積みも好きな仕事で、今回は薪棚のないところに積み上げてみようと思いましたが、でもそのコツがまだわからず、積んでも崩れてしまいます。2回積み直し3回目ようやく成功。その翌日は雪が積もり、翌々日も雪で、2日続けて雪かきをしました。薪運び、薪積みと併せて合計3日間連続して身体を動かしたことになります。その結果が、ぎっくり腰! 寝起きや歩行も不自由になり、2週間ほどおとなしくしていました。それほど重労働をしたとは思えないのですが、還暦を過ぎるとやりすぎは禁物です。でも私は、もっと高齢になってもこんな生活を続けたいな、と思っているのです。これこそ手作りのスローな生活の醍醐味(ぎっくり腰を除いては)だと考えています。



写真②

冬はタネを保存する季節でもあります。刈り取った作物から、タネを取り出します。写真②は、数年前にいろいろな豆を育てていた時の、冬の豆の保存作業の記録です。昨年も豆を7種類と、それ以外にもタネを何種類か自家採取しました。エンドウ類は昨年11月にすでに播種し、この春から初夏には別の豆を播く予定です。タネを播くことは、未来への希望につながるようで、いつもわくわくします。また新しい命がここから生まれていくのです。

2013年2月14日アースガーデン 植月千砂

追伸: すでにお知らせしたアースガーデン東側の酒造工場と道路建設の着工は、3月にスタートの予定。環境/景観が保全されることを要望しています。